

タイトル 取り除けない柱や壁を取り込んだコーナーづくり

タイプ 持家共同建

設計 カガミ建築計画 (株)

施工 (株) リフォームキュー

構造 鉄筋コンクリート造

講評

十分な広さがありながら間取りの制約となっていた柱や壁を、アクセントとしてLDKに取り込み、回遊性を生み出すことで魅力的な空間づくりがなされている。素材の使い分けやライティングも秀逸で、高級感を兼ね備えた新しい暮らし方の提案がなされている。

リフォーム前後の写真



③イトインペース
イスを置いて食事スペースに。後ろの「構造壁」が程よくLDから仕切ります。



④廊下ライブラリーコーナー



⑤パウダーコーナー
こじんまりとしつつも、明るく気持ちの良い場所。奥には可動式ミラーも。



⑥リビングダイニング-1
写真右側に見えるものが、手前から「構造壁」と「柱」です。なんとも邪魔な存在でしたが、キッチン側とLD側を程よく仕切り、意味のある壁になりました。



⑦キッチン
廊下やリビングからのアクセスも良い、広々としたキッチンスペース。手前には幅広のカウンターを設け、子供たちが宿題をしたり、大人がちょっとした軽食を楽しめる場所としています。



⑧リビングダイニング-2



Before (A)
After
↑ 玄関のB&A。LDへの真っ直ぐな廊下が長く床は、古いカーペットをはがし、フローリングに変えました。



Before (B)
After
↑ リビングB&A。柱型を取り込んだTVコーナー。大きな柱も家具の一部に見えるようにデザインしました。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

【リフォームの動機】 キッチンがオープン仕様に。外国人向けの間取りとなっているので、スペースを活用して暮らしやすい空間へ変えたい。

【設計施工の工夫点】 こちらの住戸は、構造上取り除けない「壁」と大きな「柱」がありプランニングが難しい空間でした。それらの箇所を、カラーガラスやミラーで仕上げたり、クロスをパネル貼りとして装飾的に仕上げた事により、壁柱の存在感が和らぎ、空間のデザインの上でも映える存在へ変わ

りました。キッチンがオープンとしましたが、取り除けなかった壁が、丁度リビングダイニングからの程よい目隠しとなり、セミオープンのような落ち着いた空間となりました。カウンター部分はイトインコーナーとしています。

他にも暮らしに役立つ様々なコーナーを設けました。廊下の壁面には、本棚を設けライブラリーコーナーとし、主寝室の窓際にはパウダールームなども設けています。既存建具など塗装して再度使用することで、コスト面も考慮しています。

性能向上の特性
耐久性能、温熱性能

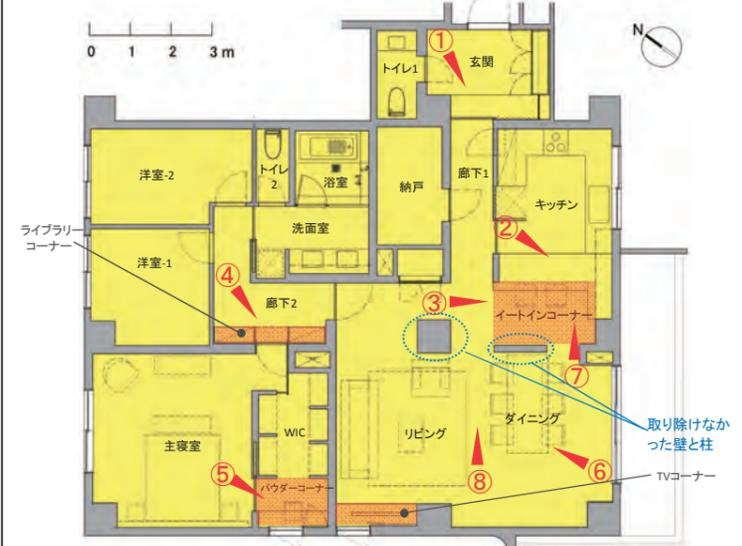
特に配慮した事項
配管新規交換、床暖設置、水回り交換 (キッチン・トイレ・浴室・洗面)

所在地	東京都港区	新築竣工年	1980年	築後年数	38年	施工期間	98日間
該当工事床面積	139.68㎡	総工事床面積	139.68㎡	該当部分工事費	3500万円	総工事費	3500万円
居住者構成	65歳以上：0人 / 15～64歳：2人 / 15歳未満：2人						

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □共用部分/ □その他